

令和3年度 那覇市小中学校 オンライン学習 アンケート調査 【 結果概要 】

那覇市立教育研究所  
令和3年 10 月 13 日時点

オンライン学習実施期間 : 令和3年8月 30 日(月)～ 9月 17 日(金)

アンケート調査回答期間 : 令和3年9月 22 日(水)～ 10 月 1 日(金)

調査対象 : 那覇市内小中学校 保護者(8017 世帯),児童(13114 名),生徒( 6759 名),教職員( 775 名)

1 今回のオンライン学習の主な実施内容について (保護者 P3、児童 P11、生徒 P14、教職員 P17)

・今回のオンライン学習では、3 つの学習形態が主に実施された。

- ①Meet による健康観察を実施した。
- ②Meet によるオンライン授業を実施した。
- ③課題の配布・提出による学習を実施した。

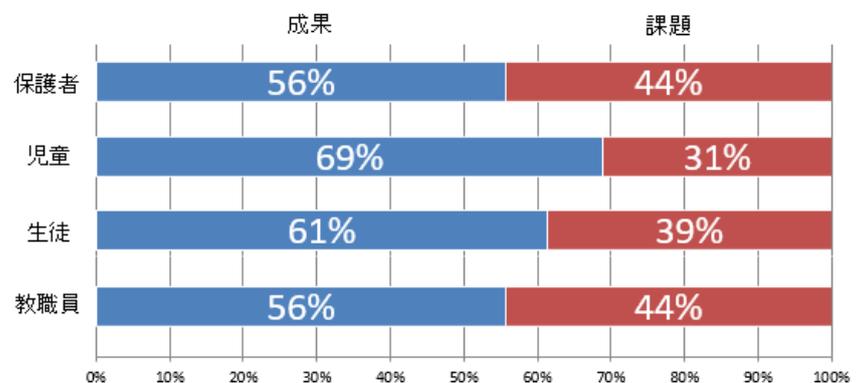
児童(小学生)は、タブレットドリルを活用した学習を実施した。

生徒(中学生)は、オンデマンド(動画)教材による学習を実施した。

2 今回のオンライン学習の成果と課題について

・成果と捉えられる項目(1～6)と課題と捉えられる項目(7～12)の比較

今回のオンライン学習については、どの対象においても成果が課題をやや上回っており、一定の効果があったと考えられる。  
それぞれの課題については、学校や関係部署と連携し、改善を図っていきたい。



・保護者 P3-10

成果:①「オンラインで子ども同士が合うことができた」 75%

②「生活リズムが乱れなかった」 35%

③「自分のペースで学習を進めることができた」 29%

保護者からは、「朝早く起きて準備していた」、「子どもが楽しんで学習していた」、「PC の操作に慣れられることができた」等の声があった。

課題:①「オンラインで通信が繋がらないことがあった」 60%

②「オンライン授業の機会が少なかった」 33%

③「先生に質問がしにくかった」 29%

保護者からは、「低学年には難しい」、「親が仕事を休んで、横に付かなくてはいけない」、「情報モラルの部分が気になる」等の声があった。

### ・子ども（児童 P12、生徒 P15）

成果:①「オンラインで友達や先生と顔と話すことができた」 児童 88%、生徒 67%

②「自分のペースで学習を進めることができた」 児童 37%、生徒 54%

③児童(小学生)「集中して学習に取り組むことができた」 34%

生徒(中学生)「生活リズムがくずれなかった」 30%

課題:①「オンラインで通信が繋がらないことがあった」 児童 40%、生徒 48%

②「先生に質問がしにくかった」 児童 16%、生徒 24%

③児童(小学生)「タブレットを使うことがむずかしかった」 16%

生徒(中学生)「学習に取り組む内容が多くて大変だった」 23%

### ・教職員 P18-19

成果:①「オンラインで友達や先生と顔と話すことができた」 94%

②「先生に質問がしやすかった」 34%

③「自分のペースで学習を進めることができた」 33%

課題:①「オンラインで通信が繋がらないことがあった」 82%

②「先生に質問がしにくかった」 27%

③「タブレットを使うことがむずかしかった」 25%

## 3 今後どんな学習をしてみたいですかについて

### ・児童(小学生)P13

「タブレットを使って友だちと学び会っていく学習」 49%

協働学習に興味があり今後の授業での活用を期待している。

### ・生徒(中学生)P16

「自分のペースで学習を解いて進めていく学習」 43%

自主的な学習への姿勢が伺える。

## 4 今後、解決すべきことや支援してほしいことについて

### ・教職員 P20

①「オンライン授業のモデルの提示」 40%

②「タブレットの授業での活用に関する研修支援」 25%

③「教職員の ICT 機器の扱い方や操作研修支援」 21%

今後は、那覇市 ICT 教育推進部会による実践事例の提供や ICT 支援員の活用により、教職員を支援していく。

## 5 日常的にタブレット端末を使ってどんなことができるか(主として取り組みたいこと)について

### ・教職員 P21

①「課題を見つけたり、調べたりする」 23%

②「考えをアウトプットし、伝えたり発表したりする」 20%

③「Google Meet による会議・研修」 16%

普段の授業内でのタブレットを活用した授業展開が期待される。